

## 都が整備する競技会場の暑さ対策

アスリートや観客が快適に過ごせるよう、大会後の利活用の姿も踏まえ、組織委員会と連携しながら、引き続き暑さ対策について実施設計で検討

(競技会場における主な取組)

- 実施設計の中で、
    - ・ 建築物の熱負荷の低減(外壁等の断熱等)
    - ・ 効果的な空調方式
    - ・ 建物の屋上や壁面を緑化
    - ・ 観客利用エリアでの遮熱性舗装の導入
    - ・ 観客席への屋根の設置
    - ・ 会場周辺の既存樹木を極力保存し緑陰を確保 等
- の暑さ対策を実施設計で検討

○ 施工中の施設

⇒ 確実にこれまでの取組を踏まえた整備を行っていく

○ 実施設計中の施設

⇒ 引き続き、可能な取り組みについて検討

(参考スケジュール) 別紙のとおり

# 都が整備する競技会場の整備状況

資料2  
(オリンピック・パラリンピック準備局)

区分	施設名※1	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)
新設	東京アクアティクスセンター		実施設計・工事			
新設	海の森水上競技場		実施設計・工事			
新設	有明アリーナ		実施設計・工事			
新設	カヌー・スラロームセンター	基本設計	実施設計	競技コース工事	管理棟工事	
新設	大井ふ頭中央海浜公園 ホッケー競技場	基本設計	実施設計	工事		
新設	夢の島公園アーチェリー場		盛土工事			
既存 (改修)	有明テニスの森公園テニス施設	基本設計	実施設計	ショーコート・ 屋内コート等工事	※2	
新設	武蔵野の森総合スポーツプラザ	工事	施設設計	施設工事		

オリンピック・パラリンピック競技大会

テストイベント

※ 令和元年6月12日時点  
 ※1 施設名は、条列名称を表記  
 ※2 屋外コート・屋内コート表層等工事